

# 防犯信州

令和5年 春号

公益社団法人  
長野県防犯協会連合会  
長野市大字稲葉2413番地11  
電話 026(217)1057

## 『長野県防犯協会連合会 創立70周年記念長野県防犯セミナー・ 防犯ボランティア地域交流会』開催



公益社団法人 長野県防犯協会連合会（以下県防連と省略）は、昭和27年12月8日に設立され、以来長野県民の防犯活動を担ってきたが、令和4年で創立70年を迎えた。これを記念し、10月14日に、長野市のホクト文化ホールで、県防連・長野県・長野県警察主催、長野県教育委員会後援で「県防連創立70周年記念 長野県防犯セミナー・防犯ボランティア地域交流会」が開催され、約150人が参加した。

開催に先立ち、長野県警察音楽隊によるオープンコンサートが行われ、大会に花が添えられた。

第1部では、土屋陽一 県防連理事（上田市市長）の開会のことばに続き、牛越徹 県防連代表理事の主催者あいさつがあり、山田明子県民文化部長のメッセージ代読による

長野県知事及び小山巖長野県警察本部長から来賓あいさつがあった。

続いて、警察庁長官・全国防犯協会連合会長表彰受賞者の受賞者紹介を行った。

杉良太郎警察庁特別防犯対策監からの厳しくもあり温かい激励をいただき、長水防犯協会連合会の岩崎修子さんが地域安全宣言を行った。

第2部では、笠原隆通 長野県くらし安全・消費生活課長の挨拶があり、次に立正大学心理学部の西田公昭教授より『なりすまし電話詐欺の被害心理と対策』と題して講演があった。

最後に、県防連須江和幸監事による閉会のことばで『長野県防犯セミナー・防犯ボランティア地域交流会』を終了した。

70周年記念  
会員之証  
・記念誌



長野県警察音楽隊によるオープンコンサート



開会のことば 土屋 陽一 県防連理事(上田市市長)



来賓あいさつ 小山 巖 長野県警察本部長



杉良太郎警察庁特別防犯対策監激励



地域安全宣言 長水防犯協会連合会 岩崎 修子さん



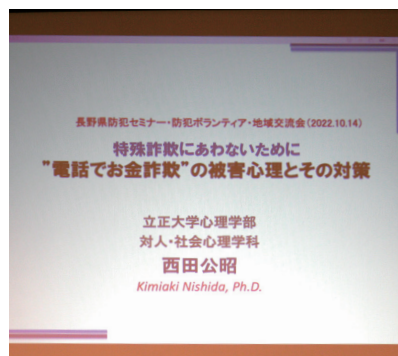
講演

■ 演題

『電話でお金詐欺の被害心理とその対策』

■ 講師

立正大学心理学部  
西田公昭教授



あいさつ 笠原 隆通 長野県暮らし安全・消費生活課長



■ (公社)長野県防犯協会連合会  
組立70周年記念特別表彰受賞者記念撮影

【前列右から】五明 勲 (一社)長野県銀行協会常務理事(団体特別表彰受賞)、宮下 博 ホワイトエンジェルス連絡協議会長(個人特別表彰受賞)、濱村 由美子 県防連防犯女性部長(個人特別表彰受賞)、中村 周一 県防連理事(個人特別表彰受賞)、横山 裕行 県防連理事(個人特別表彰受賞)、武重 正史 長野県農業協同組合中央会専務理事(団体特別表彰受賞)、平林 憲男 長野県遊技業防犯協力会会長(団体特別表彰受賞)

【後列右から】海野 忠一 県防連理事、土屋 陽一 県防連理事、牛越 徹 県防連代表理事、須江 和幸 県防連監事、伊藤 聡志 県防連専務理事、北原 唯行 県防連事務局長

令和4年度 表彰受賞者

警察庁長官・全国防犯協会連合会長表彰：金章

石塚 栄一 松本駅前防犯協会 顧問

警察庁長官・全国防犯協会連合会長表彰：銀章

唐木 美つい 伊那エンジェルス隊隊員  
片桐 良雄 中高ホワイトエンジェルス隊 隊長

全国防犯協会連合会長表彰：銅章

小椋 みつ子 伊南防犯女性部赤穂地区部員  
佐藤 重喜 依田窪防犯協会連合会  
コンビニ部会部会長

藤村 吉彦 大手防犯協会会長  
荻原 絹枝 上小防犯協会連合会  
防犯女性部地区リーダー

渡辺 英雄 須高ホワイト・エンジェルス隊隊員  
竹森 松雄 更埴職域防犯協会理事

警察庁長官・全国防犯協会連合会長表彰：防犯功労団体  
劇団「あやめ」

全国防犯協会連合会長表彰：防犯功労ボランティア団体  
豊洲地区子供を守る会

関東管区警察局長・関東防犯協会連絡協議会長表彰：防犯功労者

花岡 君江 須高防犯協会連合会女性部 指導員  
伊東 長子 佐久防犯協会連合会川西防犯女性部員  
原 拓男 佐久防犯協会連合会 理事  
佐久防犯協会連合工場事業場分会会長

野村 稔 茅野防犯協会連合会企業部会会長  
小林 由子 伊那エンジェルス隊隊員

関東管区警察局長・関東防犯協会連絡協議会長表彰：防犯功労団体表彰

更埴防犯協会連合会女性部  
大北遊技場防犯協会

関東管区警察局長・関東防犯協会連絡協議会長表彰：特別功労者表彰

宮入 義徳 千曲少年警察ボランティア協会  
戸倉地区長

関東管区警察局長・関東防犯協会連絡協議会長表彰：特別功労団体表彰

北小「笑顔まもり隊」 代表者 上野 勝裕

令和4年度「防犯ポスターコンクール」を実施

長野県警察本部(生活安全企画課)と公益社団法人 長野県防犯協会連合会は、10月6日、令和4年度「防犯ポスターコンクール」の最終審査を、長野市の県庁西庁舎で行った。

防犯意識の高揚と少年の健全育成を目的に、県内の小学校4年生から中学校3年生までを対象に募集した。

その結果、小学校が251校から5,340点、中学校が56校から1,119点、合計307校から6,459点の応募があった。

このうち、各地区・警察署の予備審査で選

出された149点について審査し、学年ごとに入賞作品を選出した。

さらに、特賞6点の中から知事賞3点を決めた。なお、知事賞3点は、令和5年の「防犯カレンダー」に使用した。

知事賞と特賞6点の作品と講評は4面に紹介します。

最終審査は、長野県美術教育研究会会長の村松哲史先生、公安委員会委員の皆様、県警本部の小山巖本部長及び各部長ら幹部、濱村由美子県防連防犯女性部長、宮下博県防連ホワイト・エンジェルズ連絡協議会長などが担当した。

各作品に点数をつけ、その合計点などにより、入賞作品を決めた。

全体講評

本年度は、新型コロナ感染拡大第7波が猛威を振るい生活に大きな影響がありました。応募数の若干の減はあったものの同程度の応募数があったことは、本コンクールが学校教育の中に位置づけられ、防犯への意識高揚の機会となっていることを改めて感じました。特に5年生の部には3千点を超える応募があり、防犯ポスターを大切にしている様子もうかがわれました。県下各地から選抜された作品には、それぞれに犯罪防止を訴える意匠が形や色で工夫されており、見ごたえのあるポスターとなっていて受賞作品を選出するのはとても熟考を要しました。また、ポスターのテーマは、現在の社会の状況を反映しており、児童生徒が身の回りに起きている犯罪への関心の高さも感じました。



村松 哲史先生

受賞者一覧

- List of award winners categorized by grade level: 小学校4年 (4th grade), 小学校5年 (5th grade), 小学校6年 (6th grade), 中学校1年 (1st year), 中学校2年 (2nd year), 中学校3年 (3rd year). Each entry includes the student's name and their school.

知事賞

小学校5年の部 佐久穂町立佐久穂小学校 高見澤 心音



「本当について行っても大丈夫?」  
犬と一緒に探してくれない?」  
まさに犯罪が行われているその様子を第三者の視点で構図化し、人物をシルエツトで表すことで表情を想像させる効果となっています。文字、背景とともに単色で構成しながら赤色でポイントとなる部分を強調されている工夫が目を引きました。

特賞

小学校4年の部 駒ヶ根市立赤穂南小学校 小岩井 春陽



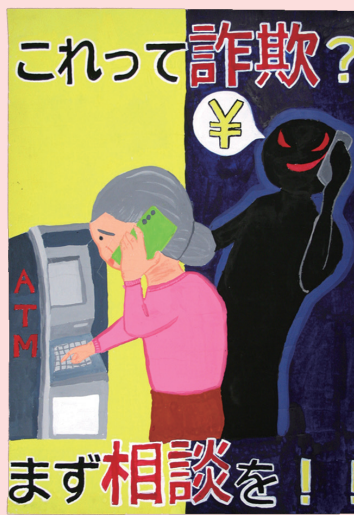
「オレオレ詐欺に気をつけろ」  
電話で詐欺を仕掛けている人物が画面に大きく黒色で描かれ、顔の表情を画面中心に配置して不気味な感じを表現しています。現金を引き出すカードをつかもうと手前に伸びている手の動きも詐欺のねらいが端的に示されています。

中学校1年の部 南木曾町立南木曾中学校 長谷部 桃菜



「あの頃には戻れない」  
薬物乱用の怖さを画面2分割で対照的に表現し、背景や暗く落ち込んだ人物のグラデーシヨン効果を巧みに取り入れています。それぞれのモチーフも丁寧に描かれ、文字にも感情を表す工夫がなされています。右側の弾んでいる人物のシルエツトが大切にしたい未来を象徴的に表現しています。

小学校6年の部 諏訪市立城南小学校 伊藤 琢人



「これって詐欺? まず相談を!!」  
詐欺の被害に遭っている方へ今すぐに忠告したい気持ちや伝わってくる作品です。画面左の困った表情で現金自動預け払い機を操作している場面と画面右の暗い色調の中で悪意に満ちた表情の人物が対照的に描かれ、詐欺犯罪の怖さが感じられる構成となっています。

中学校2年の部 辰野町立辰野中学校 松尾 柚香



「キャッシュカード預かりますよ」それ詐欺です。」  
背景、人物、カードを差し出す両手が遠近法によって描かれ、画面に空間をつくりだしています。警察官を装った人物の表情を隠し、顔や手を黒系統の色で表すことにより警戒心を惹起させます。文字の大きさが適切で読みやすい工夫もなされていて、ポスターとして質の高い作品に仕上げられています。

中学校3年の部 長野市立犀陵中学校 西條 由奈



「家族の絆で詐欺から守ろう」  
家族の絆で詐欺被害防止を呼び掛ける作品です。3世代家族の顔が画面中央に配された構図が目を引きとるとともに身体を寄せ合う形の組み合わせやそれぞれの手の動きが絆の温かさを表現しています。背景色と文字の色も調和し読みやすく一目で作者の思いが伝わる作品となっています。